



こども園だより

8月号

令和2年8月3日
荒川区立汐入こども園
園長 大山 祐子
☎3801-7285

きつとうまくいくと自分を励ませる子に

園長 大山 祐子

8月に入って、関東地方に待ち遠しかった梅雨明け宣言がありました。汐入公園の木々からは、セミの鳴き声が次々に聞こえ、夏を感じるようになりました。コロナ禍の中で、子どもたちは、外遊びや水遊びも楽しむことができますでしょう。

例年当たり前のように行われていた行事等は、コロナ感染予防から今までとは違った形で行ったり縮小したりしています。子どもたちにとって安全でうれしい楽しいこども園の生活となるよう職員一同、今月も力を合わせてまいります。

さて、子どもの様子を見てみると遊びの中でうまくいかないことがあると泣いて訴えたり、癩癢を起したりする子もいます。反対にうまくいかなくとも何度でも諦めずにチャレンジしたり、今回はうまくいかなかったけど、次は大丈夫、きつとうまくいくと自分を励ましたりすることができ、やる気が続いていく子もいます。

これは、脳のセロトニン神経系と呼ばれるものが働き、心をほっと落ち着かせてくれるような心地よさを脳にもたらすそうです。どうすればセロトニン神経系を働かせることができるのかというと、大人が抱きしめること、頭をなでることで血中のコルチゾール値(ストレスホルモン)は下がり活性化するといわれています。特に母親の声を聞くだけでもセロトニン神経系の活動が上がるそうです。

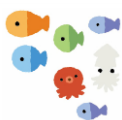
コロナ禍の中で保育者にとっては、スキンシップをとることには困難さが伴いますが、子どもたちへの誉める言葉かけ、励ます言葉かけにより自分で自分を励ませる子に育っていきますので、子どもたちの気持ちに寄り添いながら言葉かけをしていきたいと思えます。

ご家庭でも子どもたちを遅く、前向きに育てていくためにギュッと抱きしめたり、笑顔でハグしたりして見守っていくことを継続していきたいですね。きっと自分を自分で励ます子になっていくでしょう。

今月は、暑い日が続くようになります。コロナ感染症、熱中症に十分気を付けて過ごしてまいります。ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

行事予定

- 1日(土) 布団乾燥
- 26日(水) 内科検診(乳児)
- 31日(月) 避難訓練
- 下旬 身長体重測定



9月1日(火) 災害時引き取り訓練

訓練開始前に配信メールで訓練のお知らせをします。午後1時15分~午後2時00分お迎えに来てください。詳しくは7月17日に配布のお知らせをご覧ください。

